

(右・左) 経皮的腎碎石術を受けられる () さんへ 入院中のスケジュールです

説明日 (/) 説明者氏名 () STP1400200

月日(日時)	(/)	(/)		(/)	(/)	(/)	(/)
経過(病日等)	手術前日(入院当日)	手術当日(前)	手術当日(後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3～4日目	手術後5日目
達成目標	◇治療の必要性が理解でき、手術を受け入れる事ができる ◇手術に対する不安が表出できる ◇手術に向けて心身の準備・物品の準備ができる	◇手術を安全・安楽に受けることができる	◇体温・血圧が安定している ◇疼痛が緩和され、苦痛がない ◇手術の傷の治癒が良好である ◇術後出血・血尿がない ◇静脈血栓症の症状がない				【退院基準】 ◇腎盂腎炎などの感染症を起こさない ◇血尿の増強がない ◇水腎症や尿流の停滞をきさない
処置 内服・注射	(右・左) 手術部位にマーキングします 必要時、抗生剤の点滴を行います 眠る前に錠剤の下剤を飲みます	朝、浣腸をします 2番目以降の手術の方は、朝から点滴があります 手術用の寝巻に着替えます 弾力ストッキングをはきます(血栓予防のため)	止血剤、抗生剤の点滴を行います 血栓予防のために、足にフットポンプを装着します(翌朝まで)	腎ろうのガーゼ交換を行います 抗生剤の点滴を行います 朝、フットポンプをはずします	腎ろうの管が抜けないように背中に糸で縫合しています 術後経過をみて、腎ろうの管を抜きます		
検査				採血検査があります 残石確認のため、レントゲンがあります			
活動・安静	安静制限ありません(病院内自由です)	制限ありませんが、なるべく部屋に居てください	翌朝まではベッド上で安静です 頭は上げないで下さい (頭を高く上げると頭痛・吐き気が出現する可能性があります) 寝返りはできません		安静制限はありません		
安全	患者本人確認のためネームバンドをします 転倒転落の危険度を評価します ナースコール、ベッド柵を設置します 転倒予防のため、運動靴の使用をお願いします			安全のため、初回立位時・初回歩行時は、看護師が付き添います 転倒・転落危険度を評価します	点滴や管が入っていますので、転倒しないように注意しましょう		
食事	食事は 夕食まで取ることができます 水分については医師指示に従ってください それ以降は絶飲食です	朝も食事や水分は取ることができません	許可が出たら、水分のみ摂取可能です	朝食より食事開始となります 水分を多めに摂取してください (1日2000ml程度)			
清潔	入浴して下さい	洗面・歯磨きをして下さい。 男性の方は、髭剃りもして下さい		看護師が身体を拭きにきます	医師の許可が出ればシャワーに入れます		
排泄		手術前に、トイレを済ませておいて下さい	膀胱の管が挿入されます 便はベッドの上で排泄になります		膀胱の管が抜けます(状況によって、管が抜ける日が変わることがあります) 必要時、石こしをして下さい(石こしの方法は、看護師が説明を行います)		
説明・指導	・病棟オリエンテーションをします ・手術前オリエンテーションを行います ・褥瘡予防の説明・指導を行います ・腎ろうについて説明を行います ・薬剤師が内服薬の確認を行います ＜必要物品＞ ストロー付きコップ ティッシュ1箱 歯磨きセット *夕方、麻酔科の医師が診察に来ます(部屋に居て下さい) *手術室の看護師が訪問に来ます	入れ歯や時計などの金属類は外してください 手術室は総合診療棟4階です ※家族の方は病棟のデイルームでお待ち下さい ※病棟を離れられる際は、看護師にお知らせ下さい	※手術が終わったら病棟の観察室へ移動します 手術後、医師より説明があります	問題がなければ、手術翌日、午前中までに お部屋へ戻ります	退院前に薬剤師が服薬指導を行います 退院前に看護師が退院後の生活の注意点について説明します ※尿の管を抜いた後は、一時的に頻尿になったり、しみたりすることがあります ※尿の出が悪かったり、血尿が出たときは、お知らせください ※継続して治療が必要な場合は、腎ろうの管を入れたままで退院となることがあります 看護師が腎ろうの管理方法について説明を行います ※退院後、発熱や尿の出にくさがみられた際には、泌尿器外来にご連絡ください (平日 8:30～16:00) 泌尿器科外来:(代表)0942-35-3311 (休日・夜間) 泌尿器科病棟:(直通)0942-31-767		

注1:病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2:入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 泌尿器科 西棟7階病棟
2023年7月改訂